

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020103-01-00
基本事業：	01	広報の推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	広報紙を読んでいる市民の割合 メディアへの情報提供件数（計画期間内累計）		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

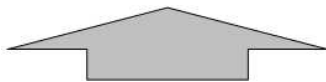
計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市内外の住民及び市内に通勤・通学している人 筑紫野市内の企業等			・広報業務として、市ホームページの掲載内容の確認、SNS（フェイスブック、ツイッター、LINE、インスタグラム）の運用、市民便利帳の発行の他にマスコミ等にイベント等の情報を提供しています。 ・広聴業務は、移動市長室、市政への提案等を実施し、市民の声を取り入れながら、市民参画の市政づくりに努めています。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
行政情報の積極的な提供を行うとともに、市民等からの意見・提案を受け入れ、情報の共有化を進め、市民協働のまちづくりを推進します。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標	
マスコミ等への情報提供件数		件	61	64	70	70			404	
市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数		件	0	249	20,000	20,000			80,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	830	642	1,145	2,190			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	26	0	52	52			
一般	千円	804	642	1,093	2,138					
正職員人工数		人工	1.4	1.4	1.4	1.4				
正職員人件費		千円	11,241	11,089	10,819					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	12,071	11,731	11,964	2,190				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況>マスコミ等への情報提供件数は、横ばいとなっています。 <原因>マスコミへの情報提供件数は、令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策により行事等が中止となったことにより少数横ばいとなっています。ホームページへのアクセス件数は、魅力発信ページの作成が年度末となったことにより、僅かとなっています。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	《課題》 「市政への提案」事業を本事業に編入し、広報・広聴を一体とするように取り組みを進めていきます。 市制施行50周年記念事業としてインスタグラムを活用することから、他の情報媒体とは別に魅力発信という面で情報発信を行っていきます。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
ホームページ上の魅力発信（シティプロモーション）ページの作成を委託することを検討しています。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
SNS（フェイスブック・ツイッター）とともに令和2年3月から開始したLINE公式アカウントも順調に推移しています。広報広聴業務を全庁的に強化していくため、各課等に設置している情報発信担当者と連携して取り組んでいます。										

事務事業名 広報「ちくしの」発行事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：27

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020103-02-00
基本事業：	01	広報の推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	広報紙を読んでいる市民の割合 メディアへの情報提供件数（計画期間内累計）		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
筑紫野市民及び市内に通勤・通学している人（市民等） 筑紫野市内の公共施設等		「広報ちくしの」は、筑紫野市広報紙発行規則（昭和47年3月16日規則第9号）に基づき、区長を通じて各世帯に配付しています。 発行部数は令和3年度は、毎号約43,500部となっています。（各世帯、市内各施設、市役所各課、等） 毎月、各課や市民から提出された原稿を秘書広報課で編集し、複数回の校正を経て発行しています。また、行政情報の圧縮、特集の掲載、表紙の写真掲載など紙面の改善を行っています。 市民アンケートの結果などから、月2回だった発行回数を、令和3年度から月1回に変更、併せて全面カラー化へとリニューアルを行いました。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
行政情報や市の魅力等が正確に市民等に伝わり、理解され、行動に結びついています。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
広報紙を読んでいる市民の割合	%	79.5	79.8	85	85			85
市からの情報提供の質や量が十分だと思う市民の割合	%	88.8	86.8	91.4	88.8			91.4

5. コスト									
事業費	計	千円	14,434	12,728	14,252	17,845			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	1,153	734	734	1,413			
一般	千円	13,281	11,994	13,518	16,432				
正職員人工数	人工		1.4	1.4	1.4	1.4			
正職員人件費	千円		11,241	11,089	10,819				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		25,675	23,817	25,071	17,845			

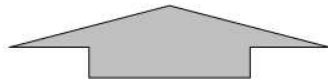
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	<状況>まちづくりアンケートから。広報紙を読んでいる割合は横ばいであり、情報提供の量と質の満足度はやや下がっています。 <原因>計画的な記事掲載など、紙面を継続的に改善しています。令和3年度からは月1回発行となり全面カラーなどリニューアルを行いました。広報紙を読んでいる割合は、紙媒体離れが進む中、横ばいとなっており、質と量の指標についてはやや低下傾向となっています。今後も手に取り読みたくなる広報紙であるよう工夫を重ねていきます。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	近年はスマートフォンなどの普及により、適宜情報を得ることができるようになっていますが、市民に対しては広報紙が情報発信の中心であることは変わらないため、手に取って読んでもらえる広報紙の作成に努めます。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
令和3年度から毎月1回の発行に変更しました。各世帯へは区長を通じて配付。インターネットが普及し、紙の情報誌離れが進む中、市民が親しみやすい情報を掲載し、全面カラー化するなど、手に取り読みたくなる広報紙へと改善を図っています。					備考・特記事項 or 進行管理欄				

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020101-39-00
基本事業：	02	市の魅力の情報発信	担当部	総務部
基本事業の成果指標	市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数 SNSフォロワー数 市の魅力をPRするために作成・発信したコンテンツ数（計画期間内累計） この1年間で友人・知人に筑紫野市の良さを伝えたことがある市民の割合		担当課	総務課
			担当係	総務担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市内外住民			<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等でのつくしちゃんの着ぐるみの積極的な活用。その様子を「つくしちゃんの出勤フォト日記」としてホームページに公開。</li> <li>・刊行物等へのつくしちゃんのイラストの積極的な活用。</li> <li>・ラインスタンプ、グッズ（ピンバッジ、CD等）の販売・配布</li> </ul>						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市のイメージアップと知名度向上の一助となることを目的に、「つくしちゃん」の露出回数を増加させることで愛着や印象を持ってもらい、「つくしちゃん」の認知度を向上させる。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標
着ぐるみの貸し出し回数		回	11	10	50	50			
「つくしちゃん」の認知度（市民アンケート）		%	85.5	86.3	90	90			
5. コスト									
事業費		計	千円	30	32	46	46		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般		千円	30	32	46	46			
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3				
正職員人件費		千円	2,409	2,376	2,318				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,439	2,408	2,364	46			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		庁内での着ぐるみ活用のネックとなっていた着用する人員の確保について、「着ぐるみ出動隊」を組織し公務対応可能とした。また、着ぐるみ貸し出し要綱を策定し、外部への貸し出しを可能としている。 コロナ禍のためイベント等が中止された事により、着ぐるみ貸し出し回数が減少した。 「つくしちゃん」の認知度について、市民アンケートで平成30年度から質問項目を設けており、令和3年度は「イラストも愛称も知っている」54.6%、「イラストだけ知っている」27.4%、「愛称だけ知っている」4.3%という結果だった。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし		【状況】着ぐるみ貸し出しについて、例年同一イベントでの貸し出しが多い。コロナ禍で貸出件数が減少。 【課題】イベント等の中止により着ぐるみの貸し出しの申込件数は少ないと予測できるが、今後のためにも貸し出し制度の周知を継続的に行う。 庁内業務におけるイラストや着ぐるみ等のより積極的な活用を促していく。				
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
着用時の暑さを軽減するタイプの着ぐるみを作製すると共に、より効果的なPRを目的に法被と職も作製した。 ラインスタンプ、ピンバッジ、CD、DVD、シールを作成しており、市民に提供するとともに、各課の行事等で活用してもらい、市のPRに活用してもらう。			より効率的・効果的に成果をあげるためには、他市の活用事例等を参考にしつつ、本市独自のPR方法等を検討する必要がある。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
近年、自治体のマスコットキャラクターは「ゆるキャラ」としてイベントのPRや自治体の顔として重要な役割を担うようになってきている。									

事務事業名 市制施行50周年記念事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1935

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	--
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標			担当課	企画政策課
			担当係	企画政策担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和03年度 ~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			50周年記念事業を（株）西日本新聞社に委託し、様々な特別記念事業、各課主催の冠事業を実施。 【スケジュール】 R3.11.30 契約 R3.12~ スケジュール、記念誌、記念動画、記念事業等の打ち合わせ R4.4.1 オープニングイベント R4.4~ 各種記念事業打ち合わせ及び事業実施 R4.11.6 記念式典 R5.2~3 市制施行50周年事業まとめ 【主な特別記念事業】 ・市民参加型創作劇 ・糸びす醤油の味噌づくり体験 ・物産販売会 ・健康セミナー 【主な冠事業】 ・筑紫野市民水泳大会 ・宝満川カヌー大会 ・オータムコンサート ・市民体育祭						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民一人ひとりが、市制50周年記念事業に関心を抱き、本事業を通じて筑紫野市との関係性を再認識し、過去、現在、未来に意識を向ける契機となること、また、市民が一体となって事業を盛り上げることを目指す。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標
特別記念事業の実施数		回							
5. コスト									
事業費		計	千円	4,295	11,374				
		国	千円	0	0				
		県	千円	0	0				
		地方債	千円	0	0				
		その他 一般	千円	4,295	11,374				
正職員人工数		人工		0.4	0.5				
正職員人件費		千円		3,168	3,864				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円		7,463	15,238				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		特別記念事業、冠事業ともに新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から規模縮小や中止をせざる得ないものがあつたが可能な範囲で事業を実施している。 今後も新型コロナウイルス感染症や災害の影響を受ける可能性があるため、委託事業者と連携をとりながらあらゆる事態に対応出来るよう準備を行っていききたい。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
新型コロナウイルス感染症や災害など不測の事態による影響が考えられること、また多方面との調整が必要な事業が多いことから、早め早めの準備を意識し事業の検討を行うこととしている。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
一人でも多くの市民に周年を周知すること、この街にある自然や存在する人々と生涯暮らしていくことを意識づける契機としてこの事業を実施するもの									